

主 文

原決定を取消す。

被告人A外八名に対する騒擾等被告事件に付弁護人天野末治の為した検察官保管に係る被害上申書被害者供述調書診断書報告書被害者名簿家屋被害者名簿被疑者名簿等の提出命令の請求は之を却下する。

理 由

本件抗告の要旨は昭和三十三年五月十七日名古屋地方裁判所刑事第一部が被告人A外八名に対するB等被告事件の第一百五十回公判において弁護人天野末治の為した検察官保管に係る被害上申書、被害者供述調書、診断書、被害者名簿、被疑者名簿等の提出命令の請求を認容した提出命令の取消を求めその理由として原決定は検察官が保管している右書類等は検察官の主尋問の信憑性を覆す為必要と考えられるから刑事訴訟法第九十九条に則り提出すべし（第一百五十回公判調書）。というに在るが右決定は次の理由により明かに違法で取消さるべきものである。

第一、検察官が提出を命ぜられた右書類はいづれも刑事訴訟法第九十九条による提出命令の対象とならざるものである。

（一）、検察官が提出を命ぜられた書類は前記の如く被害上申書、被害者供述調書、診断書、報告書はいづれも被害者及び医師の供述を内容とするものであり被害者名簿、家屋被害者名簿は七、七C事件被害状況一覧表（負傷の部、損壊被害の部との表題のもとに被害者の住所、氏名、被害程度等を記載した一覧表）でありこれらは被害上申書、診断書等を要約したものにも過ぎないものであり被疑者名簿は本件B事件被疑者の住所氏名等を記載した一覧表でありいづれも本件C事件の捜査の段階において作成された書面で書面そのものの存在又は状況が証拠となるものではなくその記載内容が証拠となるものである。（二）、刑事訴訟法第九十九条の提出命令の対象は差押えるべき物である。差押えるべき物とは証拠物又は没収すべき物に外ならず本件提出命令の対象が刑事訴訟法第九十九条の没収すべき物に該当しないことは明白である。しかれば同条の証拠物の中に証拠書類が含まれるか否かに付検討するに刑事訴訟法上証拠物とは証拠書類に対応する概念であり主として刑事訴訟法第三百五条乃至第三百七条所定の証拠調の方式に関係してその区別が論ぜられているところであるが証拠物たる書面と証拠書類たる書面との区別にその焦点があるものと理解される。此の点に関して種々な学説があるが判例として大体二種のものがある。その一つは当該事件について犯罪捜査から公判に至る迄の段階において特に作成された供述書等の書面が証拠書類でありそれ以外の書面で証拠となり得るものが証拠物たる書面であるとするもので旧刑事訴訟時代の判例を踏襲するものである（名古屋高裁昭和二四、一二、二六、昭和二四、一二、二八、札幌高裁昭和二四、九、一六）。今一つの証拠書類とは書面の意義だけが証拠となるものであり証拠物たる書面とは書面そのものの存在又は状態が証拠となるもので当該訴訟において作成されたか否かは問題ではないとするものである（東京高裁昭和二四、一〇、二五、昭和二五、六、一五、仙台高裁昭和二五、七、一二、最高裁昭和二七、五、六）。しかして同一法律内において使用される概念は原則として統一的に解釈されるべきであるから刑事訴訟法第九十九条の証拠物も右に述べたと同様に解釈されるべきであろう。そうだとすれば本件提出命令の対象たる書面はいづれも本件訴訟の捜査段階において作成されたものであるし将来はとも角現在の訴訟段階においては存在とか状態とかを証拠とするものではなくその記載内容が証拠となる場合であるから右いづれの判例の立場よりするも証拠書類であつて証拠物ではない。従つて右提出命令は明らかに法律の解釈適用を誤り提出命令の対象となつていない証拠書類に対する提出命令で違法なものであるといわなければならない。（三）、元来右に述べたような証拠物の概念は証拠調の方式にのみ適用さるべきもので刑事訴訟法第九十九条の場合は之と別異に解釈しなければならないとする立場がある。このような立場に立つて考えてみるとどうということになるであろうかもとより同条第二項の提出命令は対象物を提出させて裁判所が押収し之を証拠とすることができるようにする為の権能である。対象物の保管者が提出命令に応じなければ強制的に押収することになるわけである。押収物については刑事訴訟法第二百三十三條第三百四十六條及び第三百四十七條等の規定に従つて処分されなければならない。本件提出命令の対象は所謂捜査書類ばかりでありこのようなものについて押収物に関する右諸規定を適用することは極めて無理であるこのことはとりもなおさず刑事訴訟法第九十九条の証拠物には少くとも右のような捜査書類は入らないことを裏付けている。

（四）、更に刑事訴訟法第三百条の趣旨からもこのことは明かである。同条は証人の証言よりも同人が前に検察官の面前において供述したところの方が被告人にとつ

[illegible]

[illegible]

